

ナリ (Electing shop largest in the World) 工場内ニハ軌道十九條ヲ敷設シ百噸ノトラベルリ
起重器ヲ備ヘ一分時間ニ二千二百呎ヲ移動スルヲ得又何時ニテモ瀛鐘ヲ試験スル爲メニ二
百五十磅ノ壓力ヲ用ヒ得ル装置アリテ其他ノ各工場モ能ク整頓セリト云フ

○支那ノ鐵道 Railroad gazette april 10. 1880 支那鐵道會社ノ技師長タリシ英人キントル氏

ノ英國ノ土木學士院ニテ演說シタル要件ハ左ノ如シ

支那ニテ最初ニ敷設シタル鐵道ハ千八百七十六年吳淞^{ウソン}ノ線路ニシテ其長サ七哩軌間二呎六
吋ナリシモ翌年直ニ取拂ヒタリ世界ニ有名ナル支那狹軌鐵道是ナリ千八百七十八年李鴻章
氏ノ請願ニヨリ天津ヨリ北東八十哩斗ノ處ニアルトンサン^{トンサン}ノ石炭山ヲ開掘スル爲メニ炭山
ヨリペタン^{ペタン}ホー^{ホー}河岸迄二十九哩ノ鐵道ヲ布設スルニ決定セリ千八百七十八年キントル氏其
工事ノ擔任技師ニ雇ハレタリ

此鐵道ノ軌間ニ就テハ衆議一ナラサリシカ遂ニ四呎八吋半ト決セリ然レモ矇昧人種ノ議論
多ク瀛鐘車ノ使用ヲ許サレス故ニ馬ヲ代用スルノ已ムヲ得サル爲メ甚タ困難ナリシ
此鐵道ニ用ヒタル軌條ハ鋼鐵ニテ壹碼ノ重サ三十磅ナリ然レモキントル氏ハ熱心ヲ以テ千
八百八十年ヨリ八十一年ニカケ會社ノ工物ニテ瀛鐘車ヲ製造シタリ漸ク李氏ノ許可ヲ得テ
實地ニ試験シ公衆ヲシテ到底瀛鐘車ニアラサレハ充分ナル運轉ヲ爲ス能サルヲ感セシメ
タリ實ニ千八百八十一年十一月八日ニシテ恰モステフヘンソン氏ノ初メテ瀛鐘車ヲ製造シ
タル後凡百年ナリキ依テ此瀛鐘車 Rocket of chaina^{ロケット・オブ・チェーンナ}ト名ケ其速力ハ一時間ニ二十哩ナリ而シテ
其能ク無事ニ試運轉ノ許可ヲ得タルハ總テ支那人ノ職工ヲ使用セシニヨルト云フ

其後礦山用ノ爲メ開平鐵道會社ナルモノ起リ支那人ノ資本ニテ千八百八十六年十一月二十
二日着シ八十七年ニ竣工シ米國ヨリ流鐘車壹輛ヲ買入レ其他荷車四十輛(石炭車)ヲ用ヒ總費
三万四千封度ナリキ此炭礦鐵道ノ成工セシヨリ總督李氏モベタン及ヒ天津迄延長シ併セテ
天津ヨリ太里ニ布設センコトヲ望ミキントル氏ニ線路取調ヲ命セリ而シテ此數線ヲ總轄スル
會社ヲ設ケ支那鐵道會社ト名ケ千八百八十八年八月始メテ天津迄列車ヲ運轉セリ其速力ハ
一時間ニ二十哩ナリ

支那鐵道ノ延長及ヒ軌間

現今ノ鐵道總延長ハ 百二十哩 內百哩ハ軌間四呎八吋半 二十哩ハ三呎六吋

天津鐵道ノ賃金

上等(一哩ニ付)壹錢四厘 下等(々々) 七厘 荷物(一哩一噸ニ付)九厘

基本軌間鐵道ノ工費

軌間四呎八吋半ニシテ長百哩ノ鐵道ハ總費二十八万封度ナリト譯者曰ク其總費ヲ改算スレ
ハ大約我百六十八万圓ニ當リ即チ壹哩僅カニ壹万六千八百圓ニ過キス支那人ノ國家經濟ニ
注意スルノ深キ思フベシ橫濱東京間ノ建築費ハ壹哩ニ付凡ソ拾五万圓ナリ其工費ノ差實ニ
驚カサルヲ得ス

○米國博覽會ノ大塔 *Engineering News* April 11, 1891 *コロンビス* 記念ノ爲メチカゴ府ニ開ク大

博覽會ニ新設スル大塔ハ高サ千五百五十五呎佛國ノエツケエル塔ヨリ高キヲ百五十尺ニシテ
八角形ニ構造シ總テ鋼鐵ヲ以テ組立ッ此設計者ハチカゴ府 *David A. Proctor* 氏建築學士ハ同